

複合構造委員会「コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会」（2種小委員会）の委員募集

応募締切日：3月31日 [金]

複合構造委員会では、下記の研究小委員会を発足させることになりました。積極的に活動に参加して下さる委員を募集しますので、奮ってご応募下さい。なお、本委員会は複合構造委員会第2種小委員会のため、委員会出席のための旅費等は支給されません。

1. 委員会名称

コンクリート充填鋼管部材の活用に関する研究小委員会（H217委員会）

2. 構成

委員長： 鬼頭宏明（大阪市立大学）

幹事長： 三浦芳雄（横河ブリッジ）

委員： 公募による委員（30名程度）

3. 委員会設立の主旨・目的と活動内容

コンクリート充填鋼管(CFT)部材は、鋼管と充填コンクリートとの間での相互作用により、優れた耐荷性能と変形性能を発揮する複合部材であり、施工面でも型枠が不要な利点を有し、社会基盤構造物にも種々の施工事例が見られる。ここでは、まず、コンクリートを部分充填したものを含む当該部材ならびにその接合部に関する既往の施工事例を調査し、そこで適用された各種設計法を整理・分析し、適用実績を把握する。ついで、同施工事例に対し、経年劣化の有無など現在の使用状態と運用されている維持管理手法を併せて調査し、複合構造標準示方書をはじめとする設計図書で推奨される手法と比較検討する。さらに、二重鋼管配置、鋼管断面形状や適用部位をはじめ、当該部材の新たな活用に向けて討議し、素案を絞り込んで、その実践に向けて必要とされる技術を考究する。

<活動内容（予定）>

- (1) CFT部材と接合部の施工事例と施工時に適用された設計法の調査と分析
- (2) 既往のCFT部材と接合部の施工事例の現状把握と維持管理手法の調査と分析
- (3) CFT部材の新たな活用方法の検討

4. 活動方法

年間数回の委員会およびE-mailによる集中的な審議を通じて活動を行う。活動期間は2年間とする。

5. 応募の方法

本委員会に委員として参加を希望される方は、氏名、所属、連絡先を明記の上、応募理由、興味のある研究内容または貢献可能な研究内容や期待するところを簡潔に沿えて、下記申込み先へご連絡下さい。

6. 申込み先

(株)横河ブリッジ 技術計画室 三浦芳雄

TEL 072-280-5707

E-mail : y.miura@yokogawa-bridge.co.jp